

学生まちづくりワークショップ開催結果

開催日時 令和元年10月23日（水）16時30分～18時
開催場所 市役所5階大会議室
参加者 市内5高等学校及び高等専門学校の学生それぞれ3名 計18名
テーマ 10年後の新居浜市の姿について

<概要>

18名の学生が、6名ずつの3グループにわかれ、「10年後の新居浜市の姿について」をテーマに、ワークショップを行いました。新居浜市の強いところ、弱いところをもとに、これからのまちづくりにおいて、どのようなところに力を注いでいくべきか、ということについて、熱心に話し合いを行い、最後に、グループごとにまとめた意見を、発表しました。

<結果>

それぞれのグループから出された意見は、以下のとおりです。

○第1グループ

現在の豊富な自然、文化、歴史、産業、教育、医療などのサイクルも十分充実していると思うが、そこに交通機関、施設などの充実を加えた循環ができると、新居浜市がもっとよりよい市になると思う。

○第2グループ

- ・新居浜市で自分たちが何をしているのか、どうしているのかということ発信する必要がある。同時に発信する幅も広げる必要がある。
- ・自分たちの足もと（道路・交通）を再び顧みてみる必要がある。

○第3グループ

- ・免許の返納が進められている今、高齢者の交通手段がなくなってしまうため、交通機関に使用できる利用券のようなものを配布してはどうかと思う。
- ・街灯や信号機が少ないところがあり、また故障した場合にどこに連絡したらよいか分からない場合がある。アンケートをとるなどして、市役所との距離を身近に感じられるようにしたらよいと思う。それを市内外にPRすれば、住みやすい街としてPRできるのでは。
- ・祭りの日は新居浜市全体で学校や仕事を休みにして、祭りを盛り上げていったらよいと思う。
- ・別子銅山を知らない若者が多いので、小学校だけでなく、中学校・高校でも別子銅山に関する学習を深めていくことで、若者がその歴史をより深く知っていくことができると思う。別子銅山の歴史を知ることにより、新居浜に誇りをもつ若者が増え、ただ歴史を後世に伝えていくだけでなく、これからの新居浜のまちづくりにも大きく活用できると思う。
- ・新居浜市で働ける場所があまりないので、働ける場所を増やしたらよいと思う。また、新居浜は住友のイメージが強すぎるので、他にどんな仕事、会社があるのか知らない高校生が多いと思う。どんな会社

があるのか、また、新居浜での起業のしやすさなどをもっとわかりやすくアピールすれば、新居浜に若者が増えるのではないか。

- ・新居浜には大型の店が多いので、生活に必要なものが豊富に揃う。こうした生活面の強みを PR すれば、外にでていく人も新居浜に留めておけるのではないかと思う。
- ・新居浜に転入する人などに、中学生以下の医療費が無料という面などを PR すれば、新居浜に住んでくれる人も増えると思う。
- ・外国人が増えている。また、市内には空き家が増えている。新居浜で生活する外国人に、空き家を紹介し、住んでもらえれば、空き家の問題や市内企業の労働力確保にもプラスなのではないか。

